

指定にあたってのコメント

このたび当宮が所蔵しております明治時代初期の画家、高橋由一が描いた油彩画群二十七点が香川県の有形文化財に指定されました。これまでに大切に保存してまいりました絵画が指定されましたことは、当宮として大変喜ばしい限りでございます。

高橋由一は、我が国ではじめて油絵を本格的に描いた方です。当宮との関わりは、明治十二年三月、書院で行われた第二回琴平山博覧会に三十五点の絵画を奉納いただいたことが始まりです。とても写実的な油絵を観て、多くの方が感動されたことと思います。

当宮には、国指定重要文化財や県指定有形文化財など千九百三十三点の指定文化財がございます。今回の指定により総数は千九百六十点となります。これらの文化財を、後世に大切に守り伝えていくとともに、今後さらに公開の機会も増やして参りたいと考えております。

八月二十八日から十月三十一日まで、今回指定された二十七点すべてを展示する企画展を行います。普段は有料としております高橋由一館を特別に無料でご観覧いただけます。この機会にぜひ、美しい高橋由一の油絵をご覧いただきたいと思っております。

最後になりましたが、指定に向けた専門調査におきましては、千葉市美術館の館長で香川県文化財保護審議会委員の山梨絵美子先生をはじめ、関係機関の皆さまには大変お世話になりました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

令和七年八月

金刀比羅宮 宮司 琴陵泰裕